

# 日販連通信

第 8 号  
2011 年 4 月 21 日 発行

発行者：日本販売農業協同組合連合会

中塚 敏春

住所：〒151-0053

東京都渋谷区代々木2-5-5

新宿農協会館

電話：03-3375-6399 Fax：03-3375-6637

Eメール：info-agricoop@pearl.ocn.ne.jp

## 風評被害を吹き飛ばせ！

被災地と風評被害産地支援で茨城・千葉産の野菜即売会開催



4月21日、日販連と農民連ふるさとネットワークが共催で、茨城・千葉産の野菜即売会を開催しました。10時の開店前からお客さんが集まり、午後2時半には完売の大盛況でした。

職員が「安心・安全な野菜で～す」と訴えると「出荷制限しているから流通している野菜は安全だともっと宣伝してください」、「生産者のことを思うと胸が痛みます」と小松菜もねぎもさつまいももとたくさん野菜を買ってくれました。

近所の三是(みこれ)寿司の社長木村勲さんは「俺も商売で野菜を使うし、農家も知っている。農家の気持ちは本当に良く分かるんだ。こんな時こそ農家を応援したい」と目の前の野菜を全部買い取り、「今夜のお客さんに紹介する」とのことです。

新宿農協会館前を通行する人たちが口々に「あっ!被災地支援だ」と指さしたり、あいさつしたりで大きな宣伝になりました。

収益は全額大震災救援募金として農民連に送付します。

## 「何とかして欲しい」のひと声に、即刻、続々と救援物資

**うずら卵水煮(豊橋養鶏農協)、かぶちゃん農園株式会社(生卵、くんせい卵)、漬物(山形県櫛引農工連)、ごぼう(宮崎県綾町農協)などから大量な量の支援**

今回の被災地からの緊急な支援の要請に、「日販連通信」にて漬物、卵などでご協力をお願いを掲載いたしました。早速に「卵送ります」、「漬物送ります」との返事をいただきました。しかも今回産地からのご提供の品目の量はすべてが凄まじく多く、皆様の被災地への「心ひとつに」の熱い思いが伝わってきました。本当にありがとうございました。

## 東京電力がホームページを削除

東電の発電設備出力の原子力、水力、火力、新エネの割合と合計が表になっていた。2009 年度末の実績（他社受電分を含む）として、合計 7769 万 KW（そのうち原子力は 1819 万 KW、火力は 4486 万 KW）と掲載。また、原子力発電所各号機の概要や原子力発電所の建設計画なども同ページ内には公開されていた。この他、原子力発電所の地震対策のページや東電の火力発電所についてのページなども削除されているようだ。

東電は3月下旬、今夏の最大需要見込み 5755 万 KW に対して、4995 万 KW の供給能力しかないため、計画停電を続行するとしていた。しかし、4月8日になって突然、「お客さま各位の節電へのご関心、ご協力が広範囲にわたって浸透してきた結果、需給バランスは著しく改善を見せております」として、計画停電の中止を発表した。

環境エネルギー政策研究所(ISEP)は3月23日、大口需要家との需給調整契約の戦略的活用を行えば、当初から計画停電は不要との報告書を発表していた。(Yahooニュース4/19)

### 【重要な資料】

どんなに削除しても、隠せません。すでに東京電力の旧ホームページは下記のアドレスにそっくりコピーされています。(下図のホームページは現在は削除されています。)

<http://megalodon.jp/2011-0317-0049-39/www.tepco.co.jp/nu/knowledge/quake/index-j.html>

東京電力の旧ホームページでは、「日本は、世界でも有数の地震国といわれています。それだけに原子力発電所の地震に対する安全性については、十分に高いものであることが要求されます。

現在、わが国の原子力発電所は考えられるどのような地震が起きたときでも、設備が壊れて放射性物質が周辺環境に放出される事態に至ることのないよう、土木、建築、機械、地質、地震学など、幅広い分野の技術をもとに、厳重な耐震設計が行われています。」となっていました。

さらに津波対策では、「原子力発電所では、敷地周辺で過去に発生した津波の記録を十分調査するとともに、過去最大の津波を上回る、地震学的に想定される最大級の津波を数値シミュレーションにより評価し、重要施設の安全性を確認しています。また、発電所敷地の高さに余裕を持たせるなどの様々な安全対策を講じています」とありました。

都合が悪くなると理由も明らかにしないまま隠ぺいに走る体質がこんなところにもあります。記述内容が全て事実をもって否定されたことで、損害賠償交渉に相当不利になると判断したと思われる。



東京電力

トップページ ▶ お問い合わせ ▶ サイトマップ ▶ モバイル

● 株主・投資家のみなさま ● 採用情報 ● カスタマーセンター検索

電気料金・各種手続き	くらしとソリューション	学ぶ・知る・楽しむ	<b>原子力</b>	社会・環境分野の取り組み	TE
------------	-------------	-----------	------------	--------------	----

トップページ > **原子力** > もっと詳しく原子力 > 地震対策

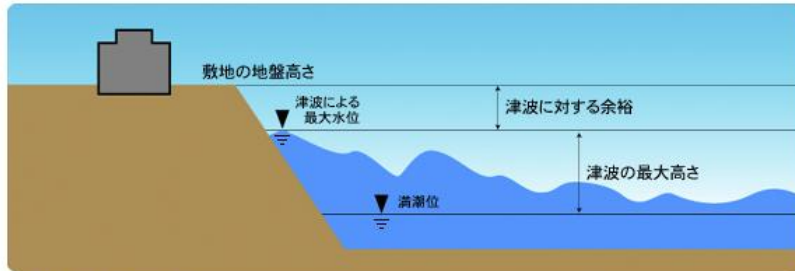
## 地震対策

日本は、世界でも有数の地震国といわれています。それだけに原子力発電所の地震に対する安全性については、十分に高いものであることが要求されます。

現在、わが国の原子力発電所は考えられるどのような地震が起きたときでも、設備が壊れて放射性物質が周辺環境に放出される事態に至ることのないよう、土木、建築、機械、地質、地震学など、幅広い分野の技術をもとに、厳重な耐震設計が行われています。

## 津波への対策

原子力発電所では、敷地周辺で過去に発生した津波の記録を十分調査するとともに、過去最大の津波を上回る、地震学的に想定される最大級の津波を数値シミュレーションにより評価し、重要施設の安全性を確認しています。また、発電所敷地の高さに余裕を持たせるなどの様々な安全対策を講じています。



・ [地震発生のメカニズム](#)

[☰ ページトップへ](#)

All Rights Reserved. Copyright© 1995-2011 TEPCO.

・ [リーガル](#) ・ [個人情報保護方針](#)

**みなさまのご意見・ご感想をお待ちしております。 アドレス: [info-agricoop@pearl.ocn.ne.jp](mailto:info-agricoop@pearl.ocn.ne.jp)**